

かるたで遊びながら、防災に関する知識を学習するプログラム

取り組み易さ：★★☆

防災ジャンボかるた

防災に関する知恵や教訓が詰まった読み札をもとに、大きなかるたを作成し、実際にかるた取りを体験してもらいます。

◎目安時間：30分／回

◎実施場所：屋内(体育館など)

◎参加人数：2人～／回

◎必要スタッフ数：2人～

実施ポイント

- 1 カルタの読み札に込められた震災の教訓を、遊びを通してしっかりと伝えることができます。
- 2 事前に読み札を配付し、覚えてもらうとより効果的です。
- 3 読み札を作成してもらうところから取り組みれば、教育効果はさらにあがります。



必要資器材 (目安)

資器材名	数	備考
<input type="checkbox"/> かるた読み札 A	1枚	プラス・アーツまでお問い合わせください。
<input type="checkbox"/> A4用紙 B	50枚程度	かるた取り札作成用
<input type="checkbox"/> 厚紙	50枚程度	かるた取り札作成用 (A3かA4サイズ)
<input type="checkbox"/> クレヨン、色鉛筆など C	人数分	取り札を描くための道具
<input type="checkbox"/> 定着スプレー	1個	クレヨンなどが落ちない工夫
<input type="checkbox"/> マイク・スピーカー	1つ	必要時のみ
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		



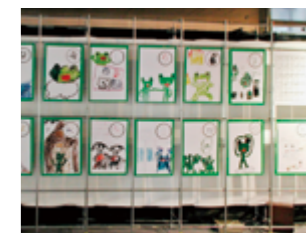
事前準備チェック項目リスト

【前日までの準備】

- 取り札を「あ」から「ん」まで46枚作成します。学校の授業と連携したり、地域の子どもたちに呼びかけたりして、子どもと一緒に楽しみながら準備をしてください。
- 完成した取り札はクレヨンなどが落ちないように定着スプレーをかけます。
- 集まった取り札をA3に拡大コピーし、厚紙に張りつけます。(A4でも可能)

【当日の準備】

- 実施する会場の準備をします。
- 確保したスペースに取り札を広げます。
- スタッフ同士でワークショップの流れを確認し合い、一度練習をしておきます。



実施内容

【防災の知恵や震災の教訓を紹介】

防災かるたの読み札が、防災の知恵や阪神・淡路大震災の教訓を基に作られていることを紹介します。



【チーム分け】

かるた取りが実施できるように、参加者をチーム分けします。

親子で参加可能なので、親の方もどんどん

【かるた実施】

かるた取りを実施します。走ると大変危険なので、事前に参加者に走らないように伝えます。参加者は座って待ち、スタッフが読み札を選んで、読み上げます。他のスタッフは札取りの判定をします。

読み札を読む際に1問ごとに解説を入れると学習効果が高まります。



【振り返り】

読み札を数問振り返り、かるたに込められた防災の知恵や震災の教訓を改めて伝えます。



【学校行事での実施】

ジャンボサイズのかるたを作成すると「かるたづくり」という形で一つの授業が実施できます。読み札に合う絵を事前に描いてもらうところから実施すると、より学習効果が高まり、学校独自のかるたもできあがります。ジャンボサイズのかるたを作成しておくとも人数でも遊ぶことができ、学校の大きな行事でも活用できます。